



人とのつながりが次の縁に結びつく場所を目指して

こだわりの商品を作る地域の事業者と
連携し「笑マルシェ」を開いた
(株)麴屋もとみや 代表取締役

本宮 啓 さん

もとみや・けい 42歳



昭和57年生まれ。2019年に、それまで14年間勤めた銀行を退社し、家業の(株)麴屋もとみやに入社。その後2022年5月に同社の代表取締役に就任し、昭和5年から続く麴屋もとみやの4代目となる。尊敬する人は、人を喜ばせることに喜びを感じていた祖母。好きな言葉は「過去と他人は変えられないが、未来と自分は変えられる」。

「良い交流が生まれる場所を作りたいと思ったのがきっかけです」と楽しみに語るのは、地域の事業者と連携し「笑マルシェ」を開いている(株)麴屋もとみや代表取締役の本宮啓さん。同社駐車場を会場に月1回開かれていたマルシェは、多くの人でにぎわう。

前職は銀行員で、もともと家業の麴屋を継ぐ気はなかったという本宮さん。仕事柄、地域の人と関わる中で、実家の商売が地域に愛されていることを実感。自分の代で家業を無くして良いものか考えるようになった。

「やりたいならやってみたい」という妻の言葉に背中を押されると、銀行を退職し37歳のときに(株)麴屋もとみやへ入社。製造や販売を担いながら家業を学んでいた矢先に、突如、新型コロナウイルスが流行した。打撃を受けた飲食部門を中心とした運営の見直しに乗り出した本宮さんが大切にしたいのは

は、さまざまな人の意見を聞くこと。店舗の運営方法を模索する中、社内で挙がったリニューアル計画を期に家業を継承すると、ワークシヨップを重ね、テイクアウト制を採用し素材にこだわったメニューに一新。6カ月が経つころには、売り上げをコロナ禍前の水準まで戻すことに成功した。

個性的で魅力ある商品が並ぶ「笑マルシェ」は、人同士がつながるきっかけ作りにと始めた。根底には、人との関わりから気付きを得て会社を良くしてきたという思いがある。

「生産者や消費者のみならず、さまざまな人の交流を盛んにして、地域を盛り上げたい」と意欲を燃やす。



基本的に毎月第3日曜日に開かれる「笑マルシェ」は多くの人でにぎわう

【広告】

関節の痛み・変形、痺れ、生活習慣病

専門家が丁寧に診察いたします。

**八幡平中央
整形外科・内科
クリニック**

	月	火	水	木	金	土
	整	整	整	内	整	整内
8:45~11:30	●	●	●	●	●	●
13:45~17:30	●	●	—	●	●	—

整=整形外科 内=内科

八幡平市大更25-117-2 TEL.0195-76-2318

■編集後記

▽数年前子どもが突然泣き出してアタフタ。休日当番医のページをなかなか見つけれず焦ったことを思い出し、6月号から「もしもの時は(12番)」と、見出しを付けています。先日、思いがけず「見やすくなっただね」と声を掛けられ、ひと工夫って大事だなと実感しました。▽大更小の子どもと神輿を取材しました。当日はとても蒸し暑く、立っているだけでもバテてしまいそうな気温でしたが、楽しそうに神輿を担いでいる子どもたちの姿に元気をもらいました。おかげで、夏のイベントラッシュもなんとか乗り越えられそうです。

(十)

※広報はちまんだい8月8日号(No350)の印刷経費は1部90.56円、発行部数は9,697部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、(株)総合広告社(☎019-626-3370)まで。

